

# 2014年(平成26年)3月期 第3四半期決算の概要

1	新契約の状況	1ページ	5	資産運用の状況	5ページ
2	保有契約の状況	2ページ	6	基礎利益の状況	7ページ
3	損益の状況	3ページ	7	健全性の状況	8ページ
4	資産・負債の状況	4ページ			

**株式会社 かんぽ生命保険**  
2014年2月14日

※1 データは、いずれも単体ベースのもの  
※2 金額表示は、特に指定のあるものを除き、切捨て

# 1 新契約の状況

- 個人保険の新契約は、172.6万件、金額5兆392億円
- 個人年金保険の新契約は、12.0万件、金額4,252億円

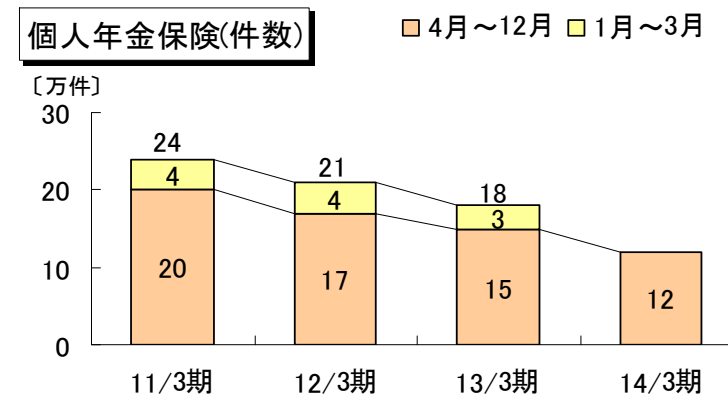
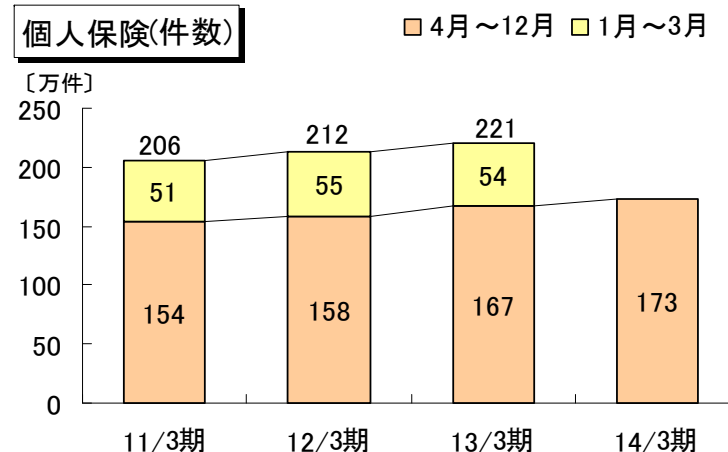
## < 新契約の内訳 >

〔単位未満四捨五入〕

	2014/3期 第3四半期		2013/3期 第3四半期	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	172.6 万件	5 兆 392 億円	166.5 万件	4 兆 9,060 億円
終身	50.5 万件	1 兆 6,712 億円	41.2 万件	1 兆 3,787 億円
養老	107.8 万件	3 兆 2,139 億円	109.0 万件	3 兆 3,548 億円
学資	14.3 万件	1,530 億円	16.3 万件	1,715 億円
個人年金保険	12.0 万件	4,252 億円	15.2 万件	5,297 億円

※主な項目について掲載しております。

## < 新契約の推移 >



## 2 保有契約の状況

- かんぽ生命の保有契約は、個人保険1,128万件、金額32兆6千億円、個人年金保険117万件、金額3兆4千億円
- 簡易生命保険契約の保険を合計した個人保険の保有契約は、3,548万件

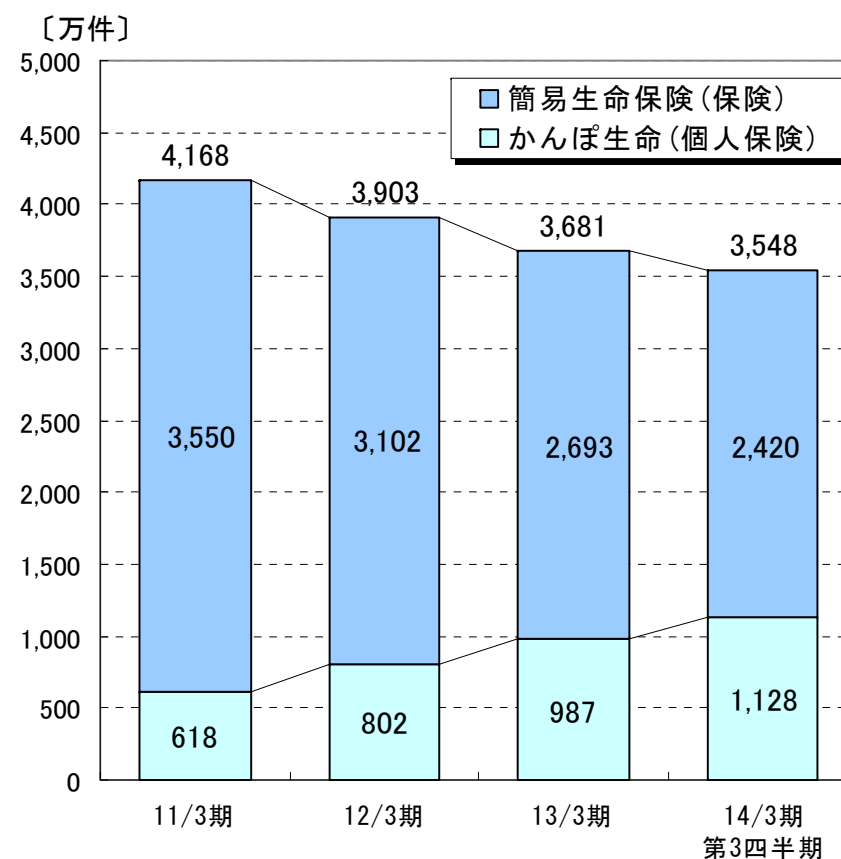
### < かんぽ生命の保有契約の内訳 >

〔単位未満四捨五入〕

	2014/3期 第3四半期		2013/3期 期末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,128 万件	32 兆 5,673 億円	987 万件	28 兆 4,807 億円
終身	266 万件	8 兆 7,209 億円	223 万件	7 兆 3,153 億円
養老	732 万件	22 兆 441 億円	646 万件	19 兆 5,924 億円
学資	129 万件	1 兆 7,857 億円	118 万件	1 兆 5,574 億円
個人年金保険	117 万件	3 兆 4,172 億円	106 万件	3 兆 1,946 億円

※主な項目について掲載しております。

### < 保有契約の推移 >



### 3 損益の状況

■ 経常利益は3,290億円、四半期純利益は413億円

#### < 損益計算書の概要 >

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 第3四半期	増減	2013/3期
経常収益	84,016	89,695	△ 5,679	118,349
保険料等収入	45,149	49,385	△ 4,236	64,817
資産運用収益 (注1)	11,551	11,746	△ 194	15,607
責任準備金戻入額	25,143	27,589	△ 2,445	37,418
経常費用	80,725	85,665	△ 4,939	113,055
保険金等支払金	76,170	80,927	△ 4,757	106,730
資産運用費用 (注2)	164	321	△ 157	295
事業費	3,778	3,765	13	5,129
経常利益	3,290	4,030	△ 739	5,293
特別損益 (注3)	△ 673	△ 350	△ 322	△ 669
契約者配当準備金繰入額	1,865	2,358	△ 493	3,074
税引前四半期純利益	751	1,321	△ 569	1,549
法人税等合計	338	545	△ 206	639
四半期純利益	413	775	△ 362	910

[単位:億円]  
※主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入  
11,025億円、有価証券売却益 461億円等です。

注2 資産運用費用は、有価証券売却損 102億円  
等です。

注3 特別損益は、価格変動準備金繰入額  
590億円等です。

# 4 資産・負債の状況

■ 総資産は88.1兆円、純資産は1.5兆円

## < 貸借対照表の概要 >

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 期末	増減
資産	881,628	904,623	△ 22,994
現金及び預貯金	8,638	7,241	1,396
金銭の信託	5,279	2,568	2,711
有価証券	711,124	725,581	△ 14,457
国債	540,334	564,726	△ 24,391
地方債	93,025	86,984	6,040
社債	65,691	64,838	853
外国証券	12,063	9,022	3,040
貸付金 (注1)	115,575	126,915	△ 11,339
繰延税金資産	5,602	4,615	987
負債及び純資産	881,628	904,623	△ 22,994
負債	866,477	889,975	△ 23,498
保険契約準備金 (注2)	818,940	847,460	△ 28,519
価格変動準備金	5,819	5,228	590
純資産	15,151	14,647	503
株主資本合計 (注3)	13,275	13,089	185
評価・換算差額等合計	1,875	1,557	318

[単位: 億円]  
※主な科目について掲載しております。

注1 貸付金の内訳は、機構貸付 10兆7,529億円、一般貸付 7,561億円、保険約款貸付 484億円です。

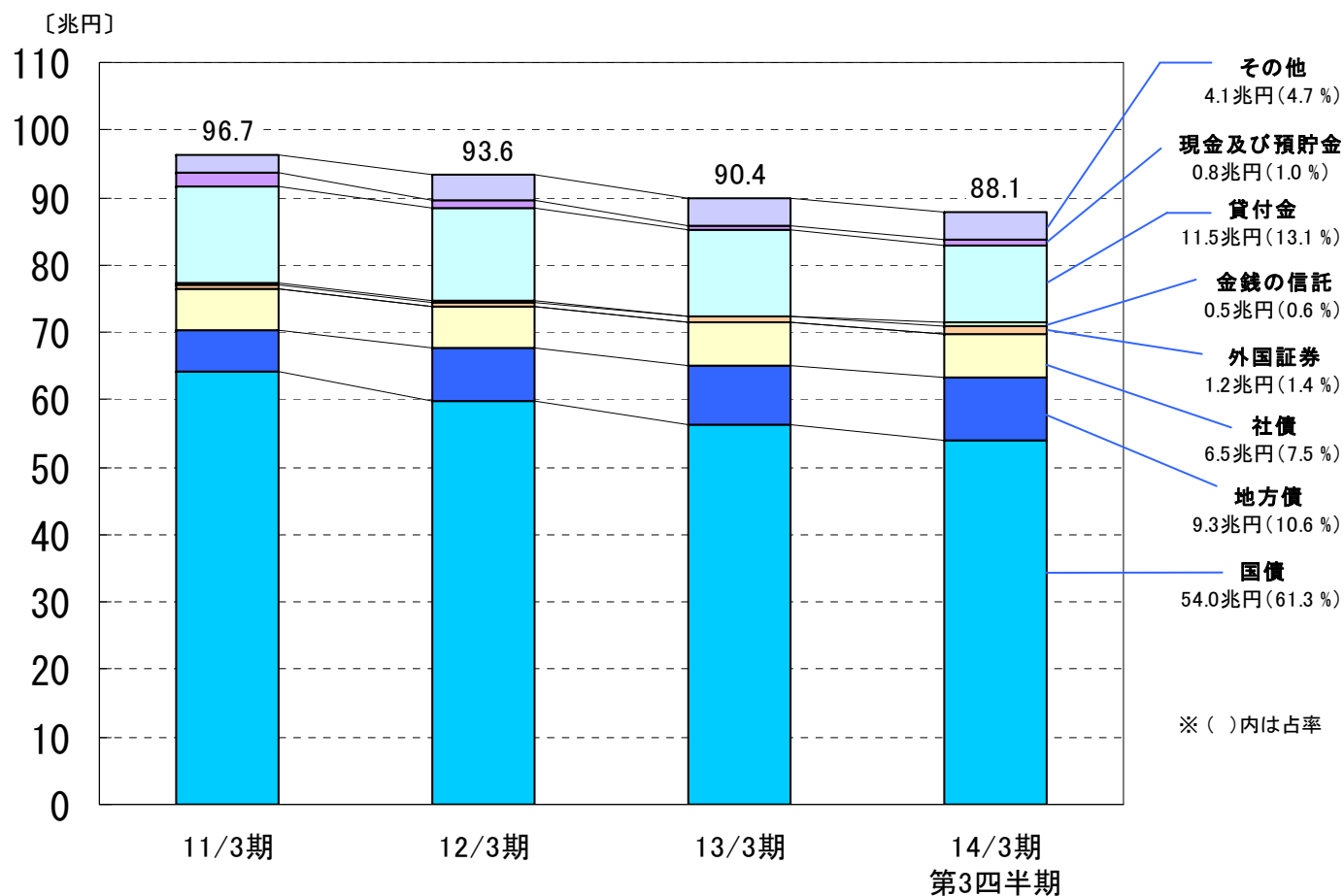
注2 保険契約準備金の内訳は、責任準備金78兆8,876億円、支払備金7,385億円、契約者配当準備金2兆2,678億円です。

注3 株主配当金227億円を支払い、四半期純利益413億円を計上した結果、185億円の増加となりました。

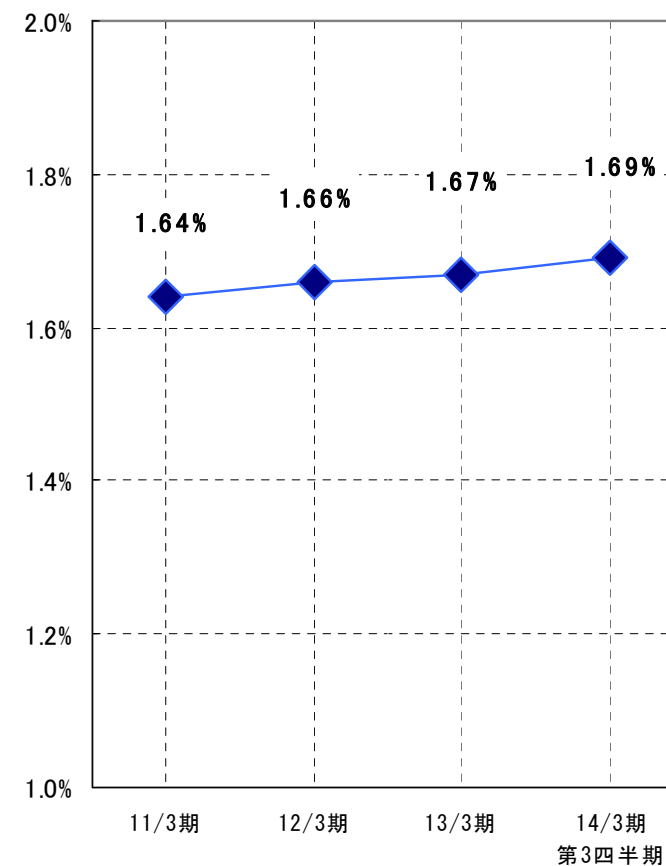
# 5 資産運用の状況①

■ 資産運用は、国債を中心とした有価証券が71兆円、貸付金が11兆円等

## < 資産構成の推移 >



## < 運用利回りの推移 >



※ 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

## 5 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体の含み益は、4兆2,345億円
- その他有価証券の含み益は、2,693億円（税効果適用後は1,875億円）

### < 含み損益の状況 >

	2014/3期 第3四半期		2013/3期 期末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
合計	72兆 804億円	4兆 2,345億円	73兆 3,826億円	5兆 2,872億円
満期保有目的の債券	45兆 3,032億円	2兆 8,946億円	43兆 2,820億円	3兆 6,431億円
責任準備金対応債券	19兆 6,301億円	1兆 705億円	23兆 5,088億円	1兆 4,191億円
その他有価証券	7兆 1,470億円	2,693億円	6兆 5,917億円	2,249億円
うち 金銭の信託	4,242億円	1,036億円	2,135億円	433億円

※その他有価証券の含み損益は、税効果適用前の金額です。税効果適用後の含み損益は、1,875億円(2014/3期 第3四半期)、1,557億円(2013/3期 期末)です。

### < 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準 >

	日経平均株価
2014/3期 第3四半期	11,700円
2013/3期 期末	9,800円
2012/3期 期末	9,900円
2011/3期 期末	10,100円

### < 参考指標 >

	日経平均 株価	円ドル	円ユーロ	円金利 (10年国債)
2013年12月末	16,291円	105.39円	145.05円	0.735%
2013年3月末	12,397円	94.05円	120.73円	0.560%
2012年3月末	10,083円	82.19円	109.80円	0.985%
2011年3月末	9,755円	83.15円	117.57円	1.255%

## 6 基礎利益の状況

- 逆ざやは解消し、基礎利益は3,526億円

### < 基礎利益の内訳（三利源） >

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 第3四半期	増減	2013/3期
基礎利益	3,526 億円	4,431 億円	△ 904 億円	5,700 億円
危険差益	2,115 億円	3,024 億円	△ 908 億円	3,852 億円
費差益	1,083 億円	1,539 億円	△ 455 億円	1,895 億円
利差益	327 億円	△ 132 億円	460 億円	△ 47 億円

### <（参考）基礎利益上の平均予定利率 >

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 第3四半期	増減	2013/3期
平均予定利率 (注1)	1.84 %	1.88 %	△ 0.04 %	1.88 %
利子利回り (注2)	1.90 %	1.86 %	0.04 %	1.87 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）×1/2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。



## 7 健全性の状況

- 負債として積み立てた内部留保は、危険準備金2兆6,132億円及び価格変動準備金5,819億円を合わせた3兆1,951億円
- 逆ざや等を補填するための追加責任準備金は、6兆1,541億円

### < 内部留保の積立状況 >

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 期末
危険準備金	2兆6,132億円	2兆6,836億円
限度額 (充足率)	2兆7,989億円 (93%)	2兆8,994億円 (93%)
価格変動準備金	5,819億円	5,228億円
限度額 (充足率)	7,877億円 (74%)	7,750億円 (67%)
内部留保合計	3兆1,951億円	3兆2,064億円

### < 追加責任準備金の積立状況 >

2014/3期 第3四半期	2013/3期 期末
6兆1,541億円	6兆2,125億円

※ 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構の受再保険の終身年金等を対象に、責任準備金を2011年3月期より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとしており、当第3四半期に積み立てた額は、1,310億円となります。

### < ソルベンシー・マージン比率 >

2014/3期 第3四半期	2013/3期 期末
1,573.4%	1,467.9%

### < 実質純資産額 >

2014/3期 第3四半期	2013/3期 期末
9兆1,031億円	10兆1,074億円